

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	筋萎縮性側索硬化症における食道拡張の後ろ向き横断的研究		
1. 研究の目的と方法	筋萎縮性側索硬化症の患者さんは食道が拡張して嚥下障害を呈することがあります。食道期の嚥下障害は誤嚥性肺炎や胃食道逆流症につながる可能性があり、適切な対応が求められます。 目的：筋萎縮性側索硬化症の患者さんに食道拡張があるか検討します。食道拡張がある患者さんと、食道拡張のない患者さんの違いを明らかにします。 方法：筋萎縮性側索硬化症の患者さんにおいて、過去に施行した胸部 CT から食道径を計測します。食道拡張の有無に関連する因子を明らかにします。食道拡張の予後への影響を検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	筋萎縮性側索硬化症の患者さんで、2014年1月1日から2025年12月31日の間に附属柏病院で胸部 CT 検査を受けた20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座（脳神経内科）
		氏名	谷口洋（やぐち ひろし）
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥（まつふじ せんや）	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座（脳神経内科） 宮川晋治（みやがわ しんじ）	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年6月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座（脳神経内科） 研究責任者：准教授 谷口 洋（やぐち ひろし） 電話番号：04-7164-1111（内線 2895） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。